○「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金適正化委員会

2020 年度国連支援募金適正化委員会は、2021 年 2 月 5 日 (金) 東京都千代田区の霞山会館・輪花の間で開催され、募金運動結果報告 (募金総額 26,167,281 円)及び国連寄付金 (12,000,000 円)等の審議事項について了承されました。







○「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」の開催状況

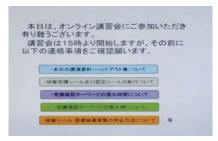
この講習会は、WHO方式がん疼痛治療法の医療関係者への普及を図り、同時に近年医療用麻薬の適応が非がん 性疼痛にも拡大されている現状を踏まえ、医療用麻薬の適正使用による疼痛治療を進めるため、医師、薬剤師等に よる実践的な講演を中心とした学術講演会として開催しています。

2020年度は厚生労働省などとの共催の下、10月から翌年3月まで全国12か所での開催を予定していましたが、新型コロナウィルス感染症の感染拡大による参加者等の健康被害の危険を考慮し、東京会場を含め6会場での開催を中止としました。

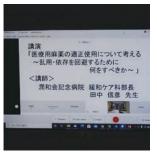
開催した6会場については、会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド方式で2会場を開催し、他の4会場はオンライン講習会として開催しました。

【2020年度開催状況】

	月日	開 催 地	備考
1	2020. 12. 5	山梨県(ハイブリッド方式)	会場(山梨県立県民文化ホール)
2	2020. 12. 12	秋田県(オンライン方式)	秋田大学等よりライブ配信
3	2021. 1. 23	群馬県(オンライン方式)	群馬県立がんセンター等よりライブ配信
4	2021. 1. 31	滋賀県(オンライン方式)	滋賀県立総合病院等よりライブ配信
5	2021. 2. 13	佐賀県(オンライン方式)	佐賀県医療センター好生館等よりライブ配信
6	2021. 3. 13	富山県(ハイブ・リット・方式)	会場(富山県農協会館ホール)
	※開催中止	三重県、鹿児島県、愛媛県、	、北海道、岡山県、東京都



オンライン講習会の状況 佐賀会場 (2021 年 2 月 13 日開催)









○調査・研究活動報告

『若者を対象としたより効果的な薬物乱用予防啓発活動の実施等に関する研究』 令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

(医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

第2回研究班会議が開催されました。

2021年1月22日(金)、オンライン会議により第2回研究班会議が開催されました。

事務局、原田財団専務理事の開会の辞を皮切りに、研究代表者である永沼 章先生(東北大学 名誉教授)及び藤野財団理事長、厚生労働省 監視指導・麻薬対策課の竹内補佐からの挨拶に引き続き、各研究分担者より今年度の研究成果の中間発表が行われました。

研究分担者が取り組んでいる内容は以下のとおりです。

■第2回研究班会議 研究分担者テーマ

河井 孝仁(東海大学文化社会学部広報メディア学科教授)

「若者向け大麻乱用防止広報案の検討 台湾現地調査 アンケート実施」

鈴木 順子 (北里大学薬学部薬学教育研究センター社会薬学部教授)

「地域社会における薬局・薬剤師の役割について」

關野 祐子 (東京大学大学院薬学系研究科ヒト細胞創薬学寄附講座特任教授)

「若年者違法薬物使用防止の啓蒙活動のためのエビデンス収集」

花尻 瑠理 (国立医薬品・食品衛生研究所生薬部室長)

「大麻の実態調査、海外の規制情報の把握」

舩田 正彦(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部室長)

「大麻を巡る国際社会の動向」

森 友久(星薬科大学薬学部教授)

「テトラヒドロカンナビノイドの摂取感覚効果に関する研究」

山本 経之(長崎国際大学大学院薬学研究科特任教授・名誉教授)

「大麻曝露によるヒトならびに齧歯類の生殖・周産期および発達過程に及ぼす影響」

(五十音順、敬称略)

なお、班会議には、オブザーバーとして以下の方々が参加しています。

緒方 潤(国立医薬品・食品衛生研究所生薬部第3室主任研究官)

田中 理恵 (国立医薬品・食品衛生研究所生薬部第3室主任研究官)

富山 健一(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部依存性薬物研究室)

今後も、コロナ禍様々な制約の中で、引き続き各研究分担者が研究を進め、その後、研究代表者が最終とりまとめを行い、初年度の研究報告書は5月中の発刊を予定しています。

了年月日 2020年9月8日	実施場所 東京都港区赤坂2-4-1 補助 金額 1、116、070円	事業大容	事業名 2020年度 青少年の健や	記	この度、2020年度の競輪の補助を受けて、左記の事業を完了いたしました。 本事業の実施により、青少年の薬物乱用の用に対する危険意識を高め、薬物乱用の予防啓発活動上大きな効果がありました。	事業完了のお知らせ]
-----------------------	---	-------------	-------------------	---	---	------------

ご 寄 付 団 体 及 び 賛 助 会 員

2020年8月15日から2021年2月10日までに、当センターにご寄付いただいた団体及びご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。 ご協力ありがとうございました。

〔ご寄付団体・個人〕

ツカモト ミチコ 様 橋本 高宏 様 原田 進 様 急薬 品 工 業 (株) 様 (一社) 日本薬局協励会様 \equiv 共 (株) 様 器 本 臓 製 (株) 祐 工業(株) 製 薬 (株) 徳 薬 묘 様 藤 本 様 製 薬 (株) 丸 石 様 武 田薬 品 工 業 (株) 様 (株) 酵 IJ ン (株) 久 光 製 薬 様 協和発 キ 様 ヤンセンファーマ(株)様 テ モ (株) 様 ル 大 日 本 住 友 製 薬 (株) 様 或 製 (株) 様 帝 薬

〔個人賛助会員〕

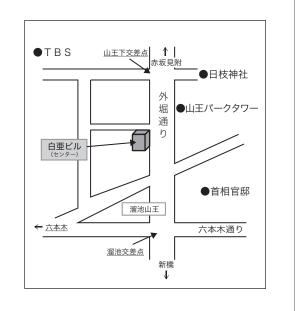
藤山 智雄 様 (継続) 西山 孟夫 様 (継続) 享 様 (継続) 清水 和田 義広 様 (継続) 大澤 誠司 様 (継続) 荻野 真由美様 (継続) 仲 真美子 様 (継続) 鈴木 孝 様 (継続) 武内 正行 様 (継続) 根津 万寿夫様 (継続) 星野 新一 様 (継続) 永谷 健司 様 (継続) 荒岡 崇一 様 (継続) 神田 博則 様 (継続) 須貝 利夫 様 (継続) 千葉 信雄 様 (継続) 佐藤 精一郎様 (継続)



公益財団法人

麻薬・覚せい剤乱用防止センター

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-4-1 (白亜ビル 9F) TEL.03 (5544) 8436~7 FAX.03 (5544) 8473 ホームページアドレス http://www.dapc.or.jp



ヘルスケアイノベーションを 推進しています。

ヘルスケア イノベーション。

それは健康を第一に考え、より美しく、より楽しく、

充実した日々を過ごしたいと願う人々への

佐藤製薬からの提案であり、企業理念です。





佐藤製薬株式会社

www.sato-seiyaku.co.jp

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-27





